

# 守ろう！平和と民主教育 第156回定期大会開催



前橋市大手町 3-1-10  
群馬高教組  
027-231-2784  
ghtu@educas.jp  
http://www.ghu.org/

「守ろう！平和と民主主義 つくろう！自由で明るい職場 子どもたちのすやかな未来のために」をメインテーマに高教組第156回定期大会が5月27日に開催されました。安倍首相による改憲や共謀罪成立に向けての動きが強まるなか、教育現場も長時間労働、人事評価の賞金へのリンクによる職員間の分断、6人に1人といわれる生徒の貧困など多くの課題があります。改めて今我々が抱える課題を、現場の視点から見つめ直す必要があります。また、今大会では組織拡大についての実践報告や討論も積極的に行われました。大変ですが、できることから頑張っていきたいと思います。



「堀込委員長挨拶」  
「首相でも党総裁でも安倍は安倍」。たったオリンピックの二週間のために共謀罪が必要？部活動・土曜補習など多忙化で自分のことで精一杯だが、こんな時こそ組合の存在が大事です。  
「来賓挨拶」  
五十嵐県労会議議長  
借金大国日本の将来

が不安。安倍政権の暴走止まらない。共謀罪に対する不安と危機。最低賞金千円、4年後には千五百円で運動を進めよう。  
青木全教副委員長  
最大の危機を迎えている実情。共謀罪は内心の自由を無視し、組合活動の萎縮が予想される。国連からも痛烈な批判を受ける内容だ。教育現場でのゼロトラランス徹底による余波。朝鮮ミサイルへの対応は尋常でない。おかしなことがおかしなところがある。組合づくりが必要だ。全教「組織づくり三カ年計画」の最終年度だが、全教千

葉の実践「雑談以上研修未満」の取り組みが管理職を含めて共感を呼んでいる。  
「主な発言」  
田中副委員長  
組合員が発言しているようなことが言えなくなったら問題。個人的なつながり、声かけが重要である。教員採用試験対策講座「あかぎ塾」は、1年目から合格者が出た。1年で5人の拡大が実現すれば、10年で50人になる。さすがありきの再開も検討している。職場訪問を心掛けており、昨日も儒恋高校を訪ねた。対話した方の組合に対する印象と認識を気になしながら、日常の着実な前進を図りたい。  
高橋(桐高)  
前期入試の休み時間が少ない問題について、県教委の無能さを露呈していることを指摘したい。(桐生支部代読) 飯塚(前工)  
毎月1回、月の初めに



青木全教副委員長

拡大支部役委員会を開催し、参加人数を増やしたい。LINEの活用も有効で、緩いつながりから始められ、若い人へのアプローチ手段ともなる。  
坂田(清陵)  
臨時教職員会(全臨教)の東日本ブロック大会を1月に高崎で開催することになった。臨教の身分・待遇改善は若干進んだが、まだまだ課題は山積している。  
青木副委員長  
地公法改正に伴い、特別職の非常勤職員、地公臨職員の扱いが「会計年度の任期付き職員」に移行した。いつでも任免できる仕組みに変化し、実質的な改善につながっていない。  
萩原(市立前橋)  
全分会の45%がひとり分会。一人だから自由にできることもある(職場新聞の復活)。昼休みを組合の時間にして取り組んでいる。  
内川(高経附)  
高経附再任用問題で市教委と交渉しているが、スタンスに変化見られない。入試業務による時間外勤務は、2週間後の定期考査中に帰っていいよ」と言われた。

読売新聞が図書館に寄贈され、目立つ所に置かれていた。  
澁谷(高商)  
あかぎ塾の内容は素晴らしいが、受講者少ないことが残念。一般教養免除の方にぜひすすめてほしい。  
山口(高工)  
高工では開校記念式典で自衛官の講演あり。話題の最後に自衛隊の意義について触れる部分があった。青雲塾懸賞論文について生徒に指導する教員がいる。



議長を務めた田口さん・大貫さん

いる。高校再編では、合同行事など計画されているが、桐高には女子トイレが極端に少なく、施設設備面での不安が大きい。  
野村(太フレ)  
年度当初に職員集合写真を県に提出していることがわかった。信頼関係を築いて、共済の勧誘など、組合のことを話していきたい。  
小松(太田女)  
勤務時間外の校門挨拶、自習室監督当番の対応などボランティア状態。生徒の知識偏重の余波を感じている。  
高橋(大泉)  
支部大会を6月23日開催する予定。同期採用の同僚と給料表を見せ合うと、1万6千円の差があるので、詳細を調べてもらおうと55歳昇給停止による逆転現象が原因であることがわかった。臨時経験者も同等となるよう、是正してほしい。  
新井(利根実)  
人事評価の「覚書」について、文言内容(賞金リンクの影響が全職員に均等に及ぶような仕組み)が管理職に徹底されていないので、指導をしてもらいたい。

飯塚(桐工)  
地区の生徒が減少することから、特色を出せと管理職から言われる。再任用が多い支部だが、若い人たちにじわりじわりと声はかけたい。  
松本(桐女)  
支部はよくがんばって

指導をしてもらいたい。



生方(沼女) 管理職は特色づくりに躍起だが「公立校で特色を出せ」はどうなのかと思う。エアコンは間に合いそうだ。高平(長野原) 家庭環境が厳しい子がおり、教育無償化の運動を強めたい。吾妻高校の跡地に特別支援校を新設するというが、生徒がいるのに改修で

きるのか? 小澤(安総) 再任用なのに学年主任と新採用研修担当をさせられている。Aは放っておくとただのおしゃべりになりがちなのが本校の実態。萩原(富東) 再任用フルタイムでやっているのか不安。朝会連絡から速射砲で、多忙化を象徴している

と思う。富東の跡地が特別支援校となることを新聞記事で知った。富岡・富東合同交流行事が増えている。生涯学習センターにあった「憲法改正国民投票」のチラシを持ってきてくれた方と話ができた。赤石(藤中) 藤中定時制は3年連続一桁だが、来年度募集はある模様だ。1年生は心配な子も多いが、欠席ゼロが続いている。生徒指導の会議で伊高校長が、総体開会式でスタンドから嘲笑があった件について、道徳教育の中身が問われている」との発言があった。多賀谷(伊勢崎清明) サービス残業が多く、「働き方改革」と言っても掛け声だけに感じる。小文化祭をゼロから立ち上げるが、生徒会の動きが悪く、若い先生を巻き込んで太鼓をやって盛り上げたい。内山(館林)

重なる大きな負担になる。やめることができないのが現状。総体開会式ではあらゆる職員にしわ寄せがいつている。今すぐにやめさせる必要がある。佐藤(オプザバー) もう1年再任用でできたが退職した。退職金は子どもへの奨学金や車などで目減りし、各種保険金一括納入も負担感大きい。職員集合写真の経費は当然県費であろうが、そうでなければ問題あり。生方(実習教員部) 任用替え試験の年齢制限が44歳と少しでも上がったのはよかった。実教の署名でもお世話になりました。高平(女性部長) 女性部アンケートでは、女性の生の声を集められよう、協力してください。(大貫議長・袋に入れて配布・回収すると回収率が上がります)

の再結成はそのため。危機感の共有が原点。人には得手不得手があり、SNSの活用は前から言われているもののなかなか実効があがっていないが、できることからやりたい。今井書記長 自衛官の講演・日本教育新聞購読など、管理職に問題が認識されていない。病休の取得制限をする管理職がいれば本部にお知らせください(備考欄は統一書式にあり)。再任用制度について、自民党は民間にならって定年延長の方針を示したが、中身は「死ぬまで働け」とも取れる恐ろしいもの。臨時教職員に関する法律変更も、安上がりに方針に変更はない。賃金リンクを空文化した県もあり、人事評価の「覚書」の主旨を、評価者研修で徹底させたいが、管理職からは「学人課の担当が何を言っているのかわからない」という声も聞く。副校長が校長の意向を付度して先回りして行動し、かえって職場を多忙化させ、混乱させているのも問題だ。

4月27日に笠原寛教育長との懇談が行われ、高教組からは堀込委員長・今井書記長・大山書記次長の三名が参加しました。冒頭、堀込委員長から昨年度交渉における臨時教職員の待遇改善に一定の評価をした上で、群馬高教組2017年春期要請書を手渡し、現場の声を教育長に届ける主旨のもと、今年度入試制度の諸問題、教職員配置に関わり、「教育に穴のあく」状況、所謂「ブラック部活」に象徴される超過勤務の実態、賃金リンクが現実化する人事評価制度などについて指摘しました。



### 教育長との懇談

笠原教育長は、人事評価制度に関し「評価者側が問われる場面であり、研修が必要。改めて現状把握に努めたい」と答えました。高校総体総合開会式の印象を、「生徒の行進に鳥肌が立つほど感動した」と答える教育長に対し、強制的な行進練習の実態、膨大な費用の問題、他県の実況、陸上部生徒の学習権侵害などの障害を指摘すると、聞いた話としながら「生徒の自主的な活動の成果発表の場であり、群馬県独自の行事として肯定的な見方もできる」とあくまで現状を是認する発言と硬化した態度に終始しました。改めてその実態を把握し、子供の声に耳を傾けて欲しいとの要請には、「そのような細かい話を私に言われても...」とつぶやかり。

この他に、皆さんの高校入試制度に対する教職員の真摯な提言を紹介し、客観的検証なしに断行される人事評価制度の問題点を指摘して懇談を終えました。

多忙化の毎日。部活動が終わってから遅くまで職員室で仕事をしている若い教員が多い。業務の一つ一つをあげると悪いことではないにしても、それが積み

田中副委員長 多忙化やパワハラ校長の話なら共感できるが、なかなかできないのが組織拡大の件。みんなできてることをやるしかない。青年部

田中副委員長 多忙化やパワハラ校長の話なら共感できるが、なかなかできないのが組織拡大の件。みんなできてることをやるしかない。青年部

田中副委員長 多忙化やパワハラ校長の話なら共感できるが、なかなかできないのが組織拡大の件。みんなできてることをやるしかない。青年部

田中副委員長 多忙化やパワハラ校長の話なら共感できるが、なかなかできないのが組織拡大の件。みんなできてることをやるしかない。青年部

田中副委員長 多忙化やパワハラ校長の話なら共感できるが、なかなかできないのが組織拡大の件。みんなできてることをやるしかない。青年部